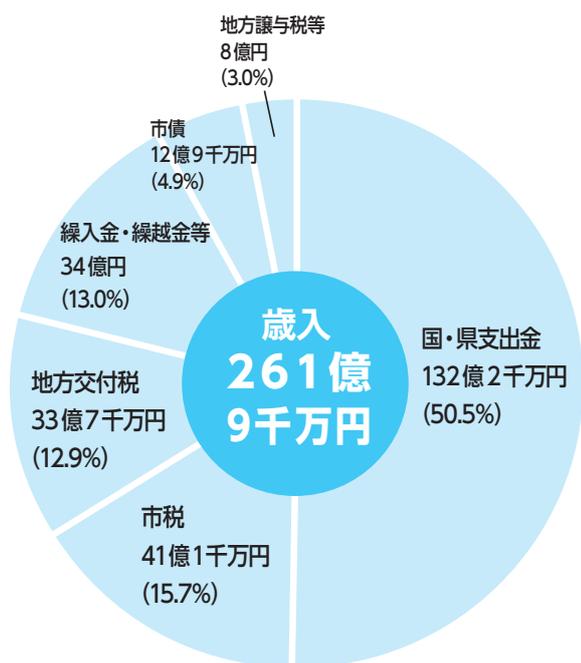


平成 28 年度

決算状況を報告します

本宮市の平成 28 年度各会計の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。 問 財政課 財政係 ☎ 24-5305

一般会計歳入



◎用語の解説

【歳入】

- ・国・県支出金…事務・事業に対して国・県から交付されたお金です。
- ・市税…市民税、固定資産税、軽自動車税など市民の皆さんが納めた税金です。
- ・地方交付税…市の財政力に応じて国から交付されたお金です。
- ・繰入金…積立金の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。
- ・繰越金…一会計年度から次の会計年度に持ち越したお金です。
- ・市債…事業実施のために借りたお金です。
- ・地方譲与税等…地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金など国や県がいったん集めたものが、交付金として配分されたお金です。

企業会計・特別会計決算

企業会計（水道事業）の決算

経常的な収支		投資的な収支	
収入	9億5,179万円	収入	1億586万円
支出	8億2,845万円	支出	5億1,905万円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	39億3,764万円	35億3,413万円
後期高齢者医療	2億7,029万円	2億6,783万円
介護保険	23億9,939万円	23億774万円
公共下水道事業	8億8,787万円	8億5,841万円
農業集落排水事業	6,316万円	5,990万円
工業用地造成事業	5億9,536万円	5億9,524万円
工業用地資産運用事業	1億1,462万円	1億1,462万円

基金残高

基金名	平成 28 年度末残高
財政調整基金	14億395万円
教育施設等整備事業基金	7億545万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	3億7,739万円
地域福祉基金	3億4,902万円
長期避難者生活拠点形成基金	2億7,972万円
震災・原子力災害復興基金	1億6,497万円
減災基金	1億5,182万円
篤志奨学資金給与基金	4,588万円
その他特定目的基金	4,316万円
合計	35億2,136万円

基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりするなどの不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設の耐震化事業、本宮駅東西自由通路の整備事業など、特定の目的のために積み立てている基金があります。

基金残高約35億円

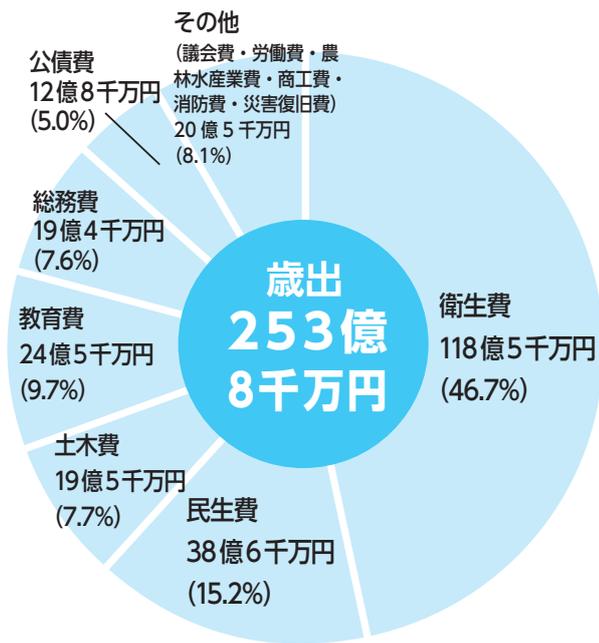
7億2千万の黒字決算

平成28年度一般会計の決算額は、歳入総額が261億9,395万円、歳出総額が253億8,036万円、歳入から歳出を差し引いた収支は8億1,359万円の黒字となりました。ここから28年度へ繰り越した事業の財源8,810万円を差し引いた実質収支額は、7億2,549万円となり、黒字決算となっています。予算の執行に当たっては、自主的財政健全化計画を遵守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めてきました。

計画的な借入・返済を

計画的な市債の発行と債務の償還により、平成19年度には399億円あった借金が、平成28年度には120億6,968万円減少し、278億3,032万円となりました。

一般会計歳出



◎用語の解説

【歳出】

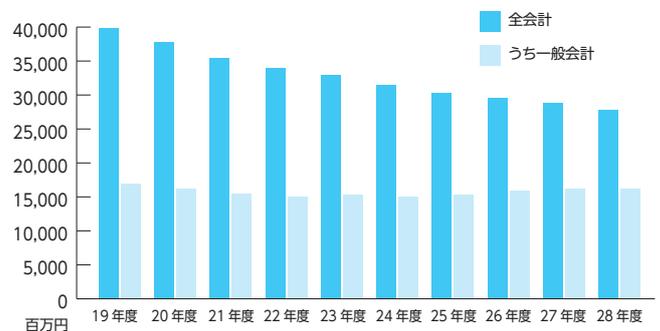
- ・衛生費…ごみ処理や生活環境を守るための経費です。(住宅除染含む)
- ・民生費…高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費です。
- ・土木費…道路橋りょう、公園整備のための経費です。
- ・教育費…学校教育・社会教育のための経費です。
- ・総務費…一般管理費、徴税费、選挙費など市政を進めるために必要な一般的な経費です。
- ・公債費…市が借りているお金の返済のための経費です。
- ・その他…商工、災害復旧、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費です。

市債・債務負担残高

平成28年度末現在高一覧

	元金	利子	合計
一般会計	154億8,001万円	6億8,936万円	161億6,937万円
市債	153億5,670万円	6億8,745万円	160億4,415万円
債務負担行為	1億2,331万円	191万円	1億2,522万円
公共下水道事業(市債)	44億6,440万円	4億7,150万円	49億3,590万円
農業集落排水事業(市債)	2億3,360万円	3,167万円	2億6,527万円
工業用地造成事業(債務負担行為)	28億6,910万円	1億5,491万円	30億2,401万円
水道事業(市債)	29億7,044万円	4億6,533万円	34億3,577万円
計	260億1,755万円	18億1,277万円	278億3,032万円

市債・債務負担行為の推移



※一般会計の市債のうち約4割が地方交付税(国から交付されるお金)の代替措置である臨時財政対策債です。市では今後も自主的財政健全化計画を遵守し、適正な市債の発行、償還を行っていきます。

財政健全化判断比率

	解説	28年度比率(※)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	一般会計に赤字額がどれくらいあるかを表します。	- (-)	13.74%	20.00%
②連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字額がどれくらいあるかを表します。	- (-)	18.74%	30.00%
③実質公債費比率	市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。	9.4 (11.1)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	市の財政運営に影響するすべての会計で将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。	93.3 (106.0)	350%	

※ () 内は、昨年27年度比率です

健全化項目オールクリア

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するため、次の4つの指標を算出します。

上記の4つの指標が基準値を上回る場合は、早期健全化団体（財政が危ない状態）、財政再生団体（財政が破たんした状態）となります。早期健全化団体になると財政健全化計画を策定し、計画に基づいて健全化を図ることになります。

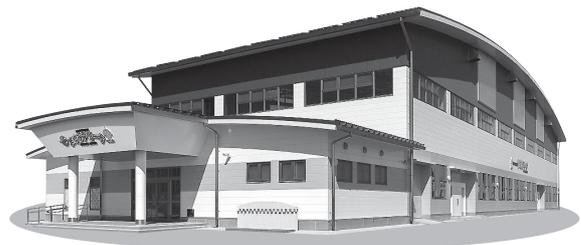
また、財政再生団体になると、再生計画の策定や市債などに対して国の管理下におかれるため、自主的な財政運営ができなくなります。

本宮市では、平成28年度決算では4つの指標とも基準を下回りました。今後も事業の効率化を図り、健全な財政運営をしていきます。

28年度の主な事業

東日本大震災・原子力災害からの復旧・復興へ向けて

住宅除染事業	107億9,174万円
復興公営住宅整備事業	8億4,574万円
農地除染事業	5,350万円
放射線健康管理対策事業	4,666万円
スマイルキッズパーク運営事業	2,725万円



関下に整備された屋内運動場「まゆみアリーナ」

豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり

本宮第一中学校耐震化事業	4億1,578万円
屋内運動施設整備事業	3億6,254万円
コミュニティ交流広場整備事業	5,772万円
外国語指導助手招致事業	1,460万円

市民と行政の協働による自立したまちづくり

行政区支援事業	3,297万円
広報もとみや発行事業	1,075万円
集会所整備・管理支援事業	554万円
地域づくり支援事業	55万円

共に支えあう やさしいまちづくり

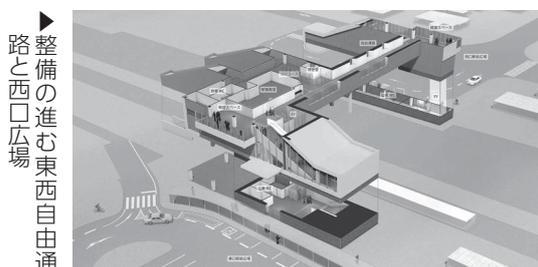
児童手当支給事業	5億3,638万円
子ども医療費助成事業	1億6,815万円
保育所事業	9,855万円
予防接種事業	7,840万円
放課後児童健全育成事業	5,600万円
がん検診事業	3,027万円

活力あるふるさとのまちづくり

農産物等放射能被害支援事業	4,174万円
観光関係団体運営支援事業	2,699万円
農林産物PR事業	505万円
担い手支援事業	454万円

安全・安心な環境のまちづくり

本宮駅周辺東西アクセス整備事業	1億5,706万円
橋りょう維持事業	5,017万円
地域防災センター整備事業	4,526万円
大山・松沢線整備事業	2,481万円
甲斐2号線整備事業	2,203万円
中ノ宮・岩田線整備事業	1,503万円



整備の進む東西自由通路と西口広場